

ス起第1461号 - 1

令和7年12月19日

米子市営湊山庭球場及び米子市営日野川堰運動広場指定管理者

特定非営利活動法人 ever green

理事長 川添 北斗 様

米子市長 伊 木 隆 司 

令和6年度「米子市営湊山庭球場及び米子市営日野川堰運動広場」指定管理者  
業務評価書

施設名	米子市営湊山庭球場及び米子市営日野川堰運動広場
施設所管課	経済部文化観光局スポーツ振興課
指定管理者名	特定非営利活動法人 ever green
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日（4年目）

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

- ・利用者からの意見や要望へ迅速かつ柔軟に対応しているとともに、清掃や芝生管理を高い頻度で実施するなど、利用しやすい環境づくりに努めており、全体として良好な施設運営である。
- ・コロナ禍や天候の影響でこれまで実施できなかった自主事業を開催し、参加者から好評を得たことは評価できる。

【第三者評価】

- ・自主事業の取組みは効果的であり、今後も継続してほしい。また、新規利用者の獲得に向け、今後もイベント等を企画してほしい。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

- ・団体としての経営状況について赤字の状況が継続しており、改善に向けた取組みが必要である。

【第三者評価】

- ・特になし

※利用者アンケートでトイレの環境改善を要望する意見があがっており、その対応を求める意見が出たが、アンケート実施後に市においてトイレの更新を実施済である。

(別紙2)

令和6年度下期「米子市営湊山庭球場及び米子市営日野川堰運動公園」モニタリング評価表  
〔令和7年12月〕

施設名	米子市営湊山庭球場及び米子市営日野川堰運動公園	
施設所管課	経済部文化観光局スポーツ振興課	
指定管理者名	団体名	特定非営利活動法人 ever green
	所在地	米子市安倍 492-2
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日	
選定方法	公募 ・ 非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	湊山庭球場でのソフトテニス大会の開催、日野川堰運動広場でのグラウンドゴルフ教室の開催	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
<b>I 履行の確認 (60点)</b>			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	適正な人員配置である。
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	必要に応じた研修を実施している。
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	電子予約システムを活用しながら利用促進を図っている。
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	B	山陰道の工事件い R6.10 から日野川堰運動広場のうち1面が使用不可となった影響で、全体の利用者数は前年度から減少したが、湊山庭球場の利用は件数、人数とも増加した。

(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	アンケート調査を実施し、要望の把握に努めるとともに、対応を検討し可能なものは着実に実行に移している。
<b>3 保守点検及び清掃等の業務</b>			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管している。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	高い頻度で清掃を行うとともに、植栽や芝生の管理も適切に実施しており、利用者が快適に施設を使用できるよう努めている。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	適切に行われている。
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	必要な修繕を実施している。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	計画に沿った自主事業が実施されている。
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	適切に行われている。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	利用者の利便性向上に繋がる管理運営に努めている。
<b>II サービスの質の評価 (25点)</b>			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	アンケート調査を実施し、高い満足度を得ている。
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	高い頻度で清掃を行い施設の美化に努めるとともに、利用環境の向上に向け迅速かつ柔軟に対応している。
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫	B	接客・対応は適切に行わ

	が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか		れている。
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	B	湊山庭球場で開催したソフトテニスでは参加者から好評を得ている。
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	市民の健康増進のための施設として役割を果たしている。

### Ⅲ サービスの安定性の評価 (15点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	妥当である。
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	妥当である。
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	C	前年度から改善は見られるが、赤字が解消されていない。

<p>【総評 (所管課評価)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者からの意見や要望へ迅速かつ柔軟に対応しているとともに、清掃や芝生管理を高い頻度で実施するなど、利用しやすい環境づくりに努めており、全体として良好な施設運営である。</li> <li>コロナ禍や天候の影響でこれまで実施できなかった自主事業を開催し、参加者から好評を得たことは評価できる。</li> <li>団体としての経営状況について赤字の状況が継続しており、改善に向けた取り組みが必要である。</li> </ul>	<p>合計点 (62) 点 / (100) 点 × 100 = (62)</p> <p>平均点 (3.1) 点</p>
---	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B (良好) = 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。(3点)

C (課題含) = 協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。(1点)

D (要改善) = 協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。(0点)

※特記事項欄は、評価を行った確認方法 (例: 立入調査、台帳確認、資料等確認) と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

※合計点は小数点第1位を四捨五入、平均点は小数点第2位を四捨五入とする。

【補足資料】

1 利用状況

項目	本年度〔令和6年4月～令和7年3月〕 A	前年度〔令和5年4月～令和6年3月〕 B	対 比 A - B	対 比 A/B (%)	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	718	720	-2	99.7	
施設利用者数	14,576	16,846	-2,270	86.5	
施設稼働率	78.1%	78.8%	-0.6%	99.2	
自主事業参加者数	38	0	38	#DIV/0!	前年度は悪天候のため開催中止となったスポーツ大会等を実施できなかったため

2 事業収支

(1) 収 入

項目	本年度〔令和6年4月～令和7年3月〕 A	前年度〔令和5年4月～令和6年3月〕 B	対 比 A - B (円)	対 比 A/B (%)	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	0	1,760	-1,760	0.0	利用料収入を伴う使用実績がなかったことに伴う減
指定管理料	15,882,700	15,882,700	0	100.0	
合 計	15,882,700	15,884,460	-1,760	100.0	

(2) 支 出

項目	本年度〔令和6年4月～令和7年3月〕 A	前年度〔令和5年4月～令和6年3月〕 B	対 比 A - B (円)	対 比 A/B (%)	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	7,884,000	7,917,028	-33,028	99.6	
需用費	701,732	784,261	-82,529	89.5	
役務費	179,206	138,955	40,251	129.0	通信費等の増加による
委託料	4,214,368	3,863,702	350,666	109.1	
使用料及び賃借料	33,000	33,000	0	100.0	
原材料費	104,273	113,740	-9,467	91.7	
備品購入費	202,775	69,389	133,386	292.2	前年度より購入備品を増加したことによる
雑費・諸経費	2,563,346	2,964,385	-401,039	86.5	
合 計	15,882,700	15,884,460	-1,760	100.0	

3 経営状況分析指標

項目	本年度〔令和6年4月～令和7年3月〕 A	前年度〔令和5年4月～令和6年3月〕 B	対 比 A - B	対 比 A/B (%)	備 考
①事業収支	0	0	0	0.0	

②利用料金比率	0.0	0.0	0.0	0.0	
③人件費比率	49.6	49.8	-0.2	99.6	
④外部委託費比率	26.5	24.3	2.2	109.2	
⑤利用者当たり 管理コスト	1089.7	942.9	146.7	115.6	
⑥利用者当たり 自治体負担コスト	1089.7	942.8	146.8	115.6	

①事業収支：（収入－支出）

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていいるかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：（利用料金収入/収入×100）

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：（人件費/支出×100）

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、又は費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：（外部委託費合計/支出×100）

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：（支出/延べ利用者数）

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：（指定管理料/延べ利用者数）

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

4 団体等の経営状況（年度ごと下期に実施し、上期では行いません。）

項目	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	備考
①自己資本比率	1.5%	36.0%	28.7%	-1526.5%	-123.9%	R5の他法人へ不動産移転に伴う手続きの影響により、引き続き赤字である。R6で手続きが完了しR7からは黒字転換する計画であることを確認している。
②流動比率	2447.0%	2025.9%	1223.8%	587.4%	21.9%	上記と同様の理由で100%未満となっているが、R7からは改善する計画であることを確認している。
③固定長期適合率	86.4%	92.6%	93.6%	67.6%	-52.2%	
④総資産経常利益率	19.5%	-4.6%	98.5%	-2230.5%	6023.8%	
評価	R5の手続きの影響で赤字の状況が続いているが、R7には黒字化する計画と確認しており状況を注視する。					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算する。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載する。

①自己資本比率

総資産（資産合計）に占める自己資本（純資産合計）の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金（負債合計）に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

自己資本比率（%）＝自己資本÷総資産×100 【例】800÷2,000×100＝40.0%

②流動比率

団体の短期的な支払能力を示す指標。1年以内に現金化できる資産を「流動資産」、1年以内に支払を要する負債を「流動負債」といい、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

流動比率（%）＝流動資産÷流動負債×100 【例】1,100÷700×100＝157.1%

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、又は換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

固定長期適合率（%）＝固定資産÷（固定負債＋自己資本）×100 【例】900÷（500＋800）×100＝69.2%

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけ経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

総資本経常利益率＝経常利益÷総資産×100 【例】200÷2,000×100＝10.0%

※補足資料1～4の各比率については小数点第2位を四捨五入とする。

■貸借対照表（例）				■損益計算書（例）	
【資産の部】		【負債の部】			
流動資産		流動負債		売上高	3,000
現金及び預金	400	買掛金	400	売上原価	1,200
受取手形	500	短期借入金	300	売上総利益	1,800
				販売費及び一般管理費	1,200

現金及び預金	400	買掛金	400	売上総利益	1,800
受取手形	500	短期借入金	300	販売費及び一般管理費	1,200
有価証券	200	流動負債合計	700	広告	700
流動資産合計	1,100	固定負債		人件費	500
固定資産		社債	300	営業利益	600
建物及び構築物	200	退職給付引当金	200	営業外収益	200
土地	500	固定負債合計	500	受取利息	200
投資有価証券	200	負債合計	1,200	その他	0
固定資産合計	900	【純資産の部】		営業外費用	600
資産合計	2,000	資本金	600	支払利息	200
		利益剰余金	200	社債利息	0
		純資産合計	800	経常利益	200
		負債純資産合計	2,000	特別利益	100
				外国為替	100
				特別損失	50
				固定資産売却損	50
				税引前当期純利益	250
				法人税・住民税等	50
				当期純利益	200

## 5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

芝刈りや修繕等の維持管理に関する要望へ適切に対応している。

## 6 利用者アンケートの結果

施設の清掃や芝生管理が行き届いていることを評価する意見が見られるなど、管理業務全体に対し高い評価を得ている。自主事業で開催したソフトテニス大会では、参加者全員が次回も参加したいと回答しており好評であった。